

さいたま市の伝統産業

～さいたま市の魅力ある地域資源～

本市に古くから伝わる伝統的な産業
「岩槻の人形」「大宮の盆栽」「浦和のうなぎ」を、
本市特有の貴重な地域資源とし、
その存在と魅力を広く発信することを目的に
「伝統産業」に指定しています。



岩槻の人形 江戸時代に始まる岩槻人形の歴史

日光東照宮の造営・修築にあたった工匠の一部が、日光御成道の宿場町で桐の産地であった岩槻にとどまり、人形作りが始まったと言われていいます。昭和初期には約200軒の工房が集まり、人形の一大産地となりました。現在でも、岩槻区を中心に、伝統的な技術をもった事業所が集積し、ひな人形や五月人形など多くの人形を製作しています。また、平成19年には、「岩槻人形」が国の伝統的工芸品に指定され、その名は広く海外にも知られています。

また、「岩槻流し雛」や「人形のまち 岩槻まつり」など、年間を通して人形にまつわるイベントがあり、広く親しまれています。

大宮の盆栽 自然美の凝縮 盆栽

長い歴史のある盆栽は、海外でも高い評価を受け、現在では日本の文化として「BONSAI」という国際語も定着しています。

大宮の盆栽は、関東大震災で被災した東京の盆栽職人が、盆栽の栽培に適した広い土地、新鮮な水と空気を求めて集団で移り住み、大正14年に大宮盆栽村ができたのが始まりです。その名は、今でも「盆栽町」という町名に引き継がれています。現在でも、北区を中心に、伝統的な技術を活かした盆栽造りを営む盆栽園が集積し、日本屈指の盆栽郷として世界的にも知られ、盆栽の魅力伝えていきます。

また、毎年5月3日～5日に行われる「大盆栽まつり」は、海外からも多くの盆栽愛好家が訪れ、にぎわいます。



浦和のうなぎ 江戸時代から続く伝統の味

江戸時代、浦和周辺には沼地が多く、うなぎの生息に適していました。そこで獲れるうなぎを、中山道を行き交う人々に提供して評判になったのが、浦和のうなぎの始まりと言われています。現在でも、浦和区を中心に、江戸時代以来の「裂き」「焼き」などの伝統的な技術を継承する老舗が集積し、うなぎのおいしさを広く提供しています。

また、浦和のうなぎを育てる会のマスコット「浦和うなこちゃん」は、漫画家のやなせたかし氏が制作し、本市の観光大使にも任命され、うなぎの魅力をPRしています。

毎年5月下旬に行われる「浦和うなぎまつり」は、うなぎのつかみ取りや実演販売もあり、人気のイベントとなっています。



浦和うなこちゃん©やなせたかし

3月28日(日)
13時

大宮盆栽美術館オープン

さいたま市 大宮盆栽美術館

盆栽文化の拠点施設となる「大宮盆栽美術館」がオープンします。世界初の公立盆栽美術館として、盆栽の名品を多数展示し、盆栽の世界観や美しさにふれることができます。

■主な施設

【盆栽庭園・コレクションギャラリー】

季節に合わせて、約50鉢の盆栽を展示

【企画展示室】

盆器、水石、浮世絵、歴史・民俗資料など、盆栽関連の品々を展示

【講座室】

ワークショップや盆栽関連の講座などを開催

■施設概要

【所在地】北区土呂町2丁目24番地3

※土呂駅東口から徒歩5分、大宮公園駅から徒歩10分

【開館時間】9時～16時30分(11～2月は16時まで)

【観覧料】一般=300円、高校生・大学生・65歳以上の方=150円、小・中学生=100円

【休館日】毎週木曜日(祝日を除く)、年末年始

【問合せ】☎780・2091、FAX668・2323



◀整備中の盆栽庭園



開館記念 美術コレクション名品選 3月28日(日)～5月5日(祝)

当館の美術コレクションから、主な作品を展示します。

【関連事業】

■開館記念講演会

期日 ▶4月11日(日) ▶4月25日(日)

時間 13時30分～15時

■名品選ギャラリートーク

期日 ▶4月14日(水) ▶4月24日(土)

時間 13時30分～14時30分

申し込み方法など、詳しくは、電話でお問い合わせください。市ホームページでもご覧になれます。※当館の講座は、今月号の市報25ページにも記載しています。



館長のあいさつ ●大宮盆栽美術館館長 大熊敏之

世界で初めての公立の「盆栽美術館」が、いよいよ、ここ、さいたま市に開館します。

盆栽村に近接する当館は、盆栽の名品をはじめ、盆栽に関わる美術品や、歴史・民俗資料等を収集、展示することを通じて、さいたま市の伝統産業にも指定されている盆栽の文化を、ひろく内外に発信していきます。

皆さん、応援のほど、どうかよろしくお願いいたします。



©あらい太朗



伝統的な技術を継承する事業所などを「伝統産業事業所」として指定し、技術の後世への継承と事業者の意欲向上を図り、地域経済が活性化することを目指しています。 ※平成22年2月現在、128事業所

① 伝統産業に属する事業所…63事業所

伝統産業に指定された産業で、その伝統的な技術を継承する事業所

② 伝統的な工芸技術を継承する事業所…30事業所

伝統産業のような集積はないが、江戸文化の影響を受けた伝統的工芸技術を継承する事業所

③ 地域の特性と深い関連のある事業所…35事業所

荒川などの自然環境、中山道の宿場町などの地理的条件により発祥、定着した老舗といわれる事業所

※伝統産業事業所の詳細は、各区1階情報公開コーナーで配布している「伝統産業ガイドブック」でご覧になれます。



詳しくは、伝統産業は、商工振興課(☎829・1364、FAX829・1988)、又はさいたま市伝統産業ホームページ(☎http://www.saitama-dentousangyou.com/)へ、大宮盆栽美術館は、文化振興課 文化施設建設準備室(☎780・2091、FAX668・2323)へ。